

極秘

拾五部内第 號

昭和十四、一、一五

渡邊工作，狀況（第四）

今井中佐

0388

高宗武工作ノ状況

第一、汪精衛聲明發表迄ノ経緯

一、第一回脱出計劃ノ中止

汪精衛ハ十二月六日重慶ヲ出發シ成都ヲ經テ

十日昆明ニ到着、豫定ナリシカ蔣介石カ突然七

日重慶ニ來着シタル爲メ行動ノ自由ヲ失ヒ遂

0389

ニ之ヲ中止セリ、從テ我方ノ近衛聲明モ十一日發  
表ノ豫定ヲ一旦十四日ニ延期シタレトモ更ニ一時之  
ヲ中止シ支那側ノ出様ヲ靜觀シテ之ニ追隨スル  
フトナク自主的ニ發表スル事ニ定メラレタリ、而シテ  
蔣突然、重慶訪問ハ在香港ノ同志ニ工作暴  
露シタルニアラサルヤヲ憂慮セシメ、又日本側ニハ一時

0390

支那側、誠意ヲ疑ハシムル傾向アリタレトモ結局  
杞憂ニ終リタリ、

ニ汪精衛重慶脱出

十二月十三日ニ至リ高宗武ヨリ汪ハ十八日重慶

發昆明ニ至ルヘキニ付キ近衛聲明ヲ十二月二十日頃

發表セラレ度キ旨要請シ來リタルカ豫定ハ如ク汪

0391

ハ十八日重慶ヨリ昆明ニ飛ヒ二十日河内ニ赴キ  
リ之ニ對シ重慶政府ハ折柄佛印政府ト兵器  
輸送ノタメ佛印通過ニ好意ヲトリツケントシテ河  
内出張中ナリシ外交部長王寵惠ノ外特ニ汪ト  
ヨキ陳布雷ヲ派遣シテソノ翻意ヲ勸告センメタ  
ルモ汪ハ断乎之ヲ拒絶セリ

0392

三、近衛及汪精衛聲明發表

日本政府ハ十二月二十二日夜首相談、形式ヲ以

テ去ル十月三十日御前會議決定ノ方針ニ基キ

日支新關係調整ニ関スル我々政策ヲ簡明シシ

ル所、蔣介石ハ二十六日重慶國民黨記念週ニ於

テ近衛談ハ日本、支那側内部攪乱ノ陰謀ナルヲ

0393

以テ之ニ惑ハサルルコトナク徹底抗戦スヘキ旨ハ十字  
ニ亘ル長文、講演ヲ行ヒテ反駁セリ汪精衛ハ右  
兩者、發表ニ對シ三十日夜近衛談話條件ヲ以  
テ此、際日支兩國、平和ヲ恢復スヘシトノ意見  
ヲ國民黨總裁蔣介石及中央執監委員長宛打電  
シ同時ニ之ヲ各通信社ニ送附シテ翌三十日新

0394

聞ニ發表セリ、

四、第三回汪精衛聲明發表

右第一回聲明ニ對シ重慶政府並ニ國內輿論ハ

汪精衛カ國民黨副總裁ノ地位ニ在リ乍ラ事前

ニ之ヲ提案スル事ナク卒然トシテ發表シタルハ不公

明ナル態度ナリトノ非難囂々タリシヲ以テ之ニ對シ

0395

汪ハ更ニ一月八日夜ニ至リ十二月二十八日付中央常  
務委員會及國防最高會議ニ對スル汪、意見書  
ノ發表セリ、之ニ對シ香港支那紙ハ何レモ舉ツテ  
默殺的態度ニ出テタルカ外國新聞ハ各々全文若  
クハソノ要旨ヲ發表シ又上海支那新聞ハ重慶政府  
ノ意志徹底セスシテ之ヲ發表シタリ

0396

第二、重慶政府ノ汪精衛ニ對スル處置

汪精衛重慶ヲ脱出スルヤ國民政府ハ直ニ汪眞

意ヲ察知シタルカ如ク汪脱出ニ關與セリト思ハルル

彭學沛、張道藩等ニ對スル監視ヲ嚴重ニシ且蔣

介石ハ二十六日記念週ニ於ケル講演ニテ汪ノ河内行

ハ國民政府ト何等ノ關係ナク個人的行動ニ過キス

0397

ト發表スルト共ニ新聞ヲ動員シ且特使ヲ派遣ス  
ル等種々ノ手段ヲ廻ラン汪ノ重慶歸還、已ムヲ得  
サルモ國外逃避ヲ中止セシメント努力シタリ、又汪  
精衛第一次聲明發表前ニ於テハ重慶側ニテハ  
汪ハ假令聲明ヲ發表スルコトアリトモ蔣ノ記念週  
於ケル講演ノ反駁位ノモノナルヘシト考ヘ近衛談ニ響

0398

應スルカ如キハ夢想タモセサリシカ  
如ク三十日午後  
全文ヲ入手スルヤ初メテ全貌ヲ承知シ  
事ハ重大ナル  
ニ驚愕シ周章狼狽シテ三十一日中央執行常務委員  
員ノ臨時會議ヲ招集シ對策ヲ研究シ外レトモ出  
席者何レモ興奮シ汪逮捕令ノ發出、黨籍ヲ收  
消シ、一切ノ榮譽、剝奪等嚴重處分スヘイトモ

0399

硬論續出シ結論ヲ得ルニ至ラス翌一月一日元旦ニ  
拘ラス改メテ中央執行常務委員會會議ヲ再開  
シ汪ノ公職ヲ罷免シ且國民黨々籍ヲ剝奪スルト  
共ニ全國ノ新聞ヲ總動員シ汪ニ對スル攻撃ヲ開  
始セリ爾來重慶政府ノ汪ニ對スル態度ハ極メテ  
不良ニシテ共產黨並ニ孫科等ノ國民黨左派ノ者

0400

最モ之ヲ痛撃シ汪、公民權剝奪及逮捕令發  
出ヲモ要求シオレリ、然レ共蔣介石ハ内心激怒シ  
オレトモ之ニ對スル處置苛酷ナランカ却テ意外ノ  
反動アルヘキヲ怖レ表面寛大ヲ装ヒ居ルヲ以テ表面  
的ニ汪、逮捕令ヲ下スヤ否ヤハ汪今後ノ行動ヲ  
見タル上ニテ遲カラズ又過早ニ汪、反省ノ道ヲ斷ツ

0401

ヘキニアラストノ態度ナルカ如シ、從テ汪精衛派ノモ  
ノニ對シテモ周佛海ノ中央宣傳部長及林柏生、  
中央立法委員ヲ罷免シタル外ハ彭學沛、甘乃光、  
王世杰等ヲ其ノ儘現職ニ止マラシムアルモノ、如シ、  
邵力子ノ如キモ汪カ之以上ノ行動ニ出ラサル限リ  
中央トシテモ之以上ノ處置トラサルヘク假令汪カ更

0402

ニ日本側ニ走ルトシテモ精々逮捕令ヲ下ス位ノ外  
處置ナカルヘシト述ヘタル情報モアリ、一部中樞  
要人ハ事態ノ影響ノ大ナルヲ知リオルモ蔣介石カ  
依然抗戰第一ノ態度ヲ堅持シオル關係上前途  
ヲ悲觀シ汪ノ主張ニ附和シタキ連中ハ意志表示  
ヲ行ヒ得ス、秘カニ機會ノ到來ヲ待チオル状態

0403

ナリ

第三、汪精衛聲明ニ對スル支那各地反響

一、香港ニ於ケル觀察

汪精衛、重慶脱出並ニ第一次聲明ニ對シテハ

香港支那紙ハ何レモ汪カ日本ト通謀シ國家ヲ

分裂ニ導ク國賊ナリトノ酷評ヲ試ミタルモ其一般

0404

人心ニ與ヘタル衝擊ハ絶大ナルコトハ十二月三十日以來  
今日ニ到ル迄連日之ヲ痛罵シテ止マサル狀況ニ見ル  
モ察知シ得ヘシ、尚之等論評中注目スヘキコトハ汪  
ノ聲明直後ニ於テハ蔣介石派新聞タル大公報申  
報及陳誠系タル立法等ハ樂觀的傾向ヲ一貫シテ  
主張シ成可ク本問題ノ核心ニ觸ルル事ヲ避  
ケンハス

九

0405

ル傾向アリタルモ一月三日頃より漸次悲觀的傾向ヲ  
帶ヒ特ニ所謂傍系ト目サル星島日報、星報、中  
國日報等ハ汪、行動ヲ重視シ其背後ニ軍閥  
關係アルコト或ハ汪、行動ヲ輕視スル事ノ危險等  
ヲ論述スルニ至リタルコトナリトス、然レ共斯クノコ  
ト汪ニ對スル新聞論調、不良ナルニ拘ラス一般支那

0406

人上ノ汪等ニ好感ヲ寄スルモノ尠カラス、高宗武  
等ノ言ニ依レハ單ニ香港ノミナラス支那各地ヨリ彼  
等ニ對スル激勵電多ク重慶政府ニ對シ汪反對ノ  
通電ヲ發シタルモノニシテ秘カニ汪等同志ニ宛テ贊  
成電ヲ寄スルモノモ尠カラスト、市中商民ハ和平ノ  
到來ニ多大ノ希望ヲツナギ從來日本人トノ接近ヲ

0407

ナリ  
避ケ居タルモノニシテ内々連絡ヲ求ムルモノモアル狀況

二、上海ニ於ケル情況

上海各工會及民間諸團體等ヲ其傘下ニ抱  
擁シ居レル國民黨上海市黨部ハ從來其幹部  
ニCC團系多ク一部改組派者ヲ交ヘアリシカ汪

0408

ノ聲明アリテヨリ同派ノ幹部姜豪及新ニ香港  
ヨリ來滬セル余鵬等ハ何レモ之ニ呼應セントシテ待  
機ノ姿勢ニアリテ萬一汪ニシテ新行動ニ出テンカ  
彼等モ亦之ニ從ハントスル狀況ナリ

CC團系幹部モ亦陳立夫ト蔣介石ト關係ニ  
鑑ミ汪反對ノ行動ニ出テス專ラ中立的立場ヲ取

0409

リ居レリ之カ爲從來兎角排目的色彩濃厚ナ  
リシ上海各工會モ未メ何等ノ行動ニ出テ人情勢  
觀望ノ狀態ナリ

又從來思想的ニ一派汪等ニ通スル所アリタル傳  
式說等ノ國際問題商榷會及復興研究社等  
ノ文化團體ハ汪聲明アリテヨリ極メテ活潑ナル活動

0410

ヲ開始シ其青年層約三百名ハ汪ノ來滬ニ備之  
カ護衛ノ爲突撃隊ヲラント劃策シ居リ在滬中  
中央執行委員褚民誼ハ汪ノ立場擁護ノ爲々近  
ノ聲明書ヲ發表セントスル意向ヲモ有シ居レリ  
一般ニ共產黨及黃埔軍官系ノ大部ハ汪ニ反對  
シ一般財界ハ和平待望ノ氣持ヨリ贊意ヲ表シ第

0411

三黨及國家社會黨ハ漸次汪ノ主張ニ參加セント  
スルノ傾向多シト觀測セラレ居レリ

申報記者ノ談ニ依ルハ前北京大學校長蔣夢麟カ

數日前ニ三民主義青年團ニ對シ汪ノ通電ニ對ス

ル意見ヲ問ヒタル所同席者一五九名中汪ニ同

意ノ者六三名及對ニ五名不明七一名ニシテ反對者ニ

0412

ハ學生多ク賛成者ニハ實業家多カリント以テ其  
一班ノ歸趨ヲ察シ得ヘシ

要スルニ一般人ノ觀察ハ汪ハ必ス相當ノ成功ヲ獲得

スヘント云フモノト已ニ現在程度ニテ再起困難ナルヘシ

トノ二者アルモ何レモ日本側トノ關係ヲ知ラス固ヨリ

汪等ノ確固タル決意及計劃ヲ知ラサル者ノ外面的

觀察ニ過キス

尚茲ニ注意スヘキハ汪、運動アリテヨリ從來日本側

ト和平交渉ノ野心アリタル孔祥熙及蔣振瀛等

カ汪ニ時局收拾、鍵ヲ握ラレンフトヲ恐レ極ムテ焦

慮、色アリ盛ニ汪、無カヲ放送シアルコトニシテ殊

ニ前者ハ上海代表樊光等ヲ使用シ日本側ノ内意

0414

ヲ探ラシメツツアリ此際日本側ハ彼等ニ接近  
慎重トラシメ其策謀ニ乗セラレサルコト肝要ナリ

0415

第四汪ト軍閥トノ關係及之ニ對スル中央ノ処置

雲南、龍雲及四川、潘文華、鄧錫侯、劉文輝並

張發奎等ト汪トハ相當連絡圖滑ナルカ如ク世上龍雲

ト汪トノ無關係ヲ云々スルモノアルモ其真相ハ龍雲ハ蔣介

石ヨリ汪抑留ヲ命セラレタル爲メ急遽汪ヲ河内ニ脱出セ

シメ蔣介石ニハ表面汪ノ國外脱出ヲ報告シ且忠誠ヲ誓ヒタ

0416

ルモノニシテ一ニ舉兵、時機ヲ待タンカ爲ソノ方便的手段ト判斷  
スルヲ適當ト信ス、又一月古川黔、滇湘贛、康各省主席  
及軍政要員、會議ニ對シ四川、貴州當事者ハ既ニ重慶ニ  
赴キタルニ拘ラス雲南、龍雲ハ其代理者ヲ派遣シタルニ過ギ  
サルコトモ龍雲ノ態度觀察、參考トナシ得ヘシ。

尚陳公博ノ言ニ依リ彼等ハ李宗仁、白崇禧ト連絡シアルカ

0417

如キモ李濟琛トハ特別ノ連絡ナキカ如シ、重慶側中央軍ハ之  
等汪ト連絡ノ疑ヒアル軍閥監視ノ爲メ從來重慶軍官學  
校學生<sup>一軍</sup>一万五千及成都ニ二個師ヲ置キ其他陝西省漢  
中<sup>中</sup>約四個師ヲ配置シ之等軍閥ニシテ輕舉妄動センカ直  
チニ討伐行動ヲ開始セントスル態勢ニアリ、又新聞報ニ依  
リハ四川省ニ約八万ノ中央軍カ主要都市ニ分駐シ四川軍閥

0418

ニ對スル壓カトナレアリトノ情報モアリ、之等軍閥對中央ノ  
關係ハ嵐ノ前ノ靜カナル波動トモ觀測セラレサルニアラス

### 第五、香港及河内ニ於ケル英佛官憲ノ態度

一、河内ノ狀況

河内ニ駐在シタルモノハ汪精衛、外中央候

補執行委員曾仲鳴等ニテ河内郊外朱培德別邸

ニ在リ、佛印官憲ハ表面便宜ヲ計ラサルカ如キ態度ヲ

0419

示レアルモ内々刺客 其他ニ對スル警告ヲ嚴ニ好意ヲ寄  
セ大ナル不便ナク過シ居レリ、

二、香港、狀況 目下香港ニ駐在シアル同志ハ前四川黨務

主任陳公博、前鐵道部長顧孟餘、中央監察委員陳

璧君、前中央宣傳部長周佛海、藝文社主任陶希聖

前中央立法委員林柏生、前江寧縣長梅思平、前外交

0420

部亞洲司長高宗武、前情報課長周隆禔等ナルカ之  
ニ對シ英國官憲、監視嚴重ニシテ彼等同志ノ行動着シ  
ク拘束セラレアルモ高宗武ハ陳璧君ノ意見ニヨリ香港總  
督ニ對シ汪ノ同地滞在ヲ可能ナラシムル如ク了解ヲ求ムル  
答ニシテ充分好意アル回答ヲ得ヘシト樂觀シ居レリ

第六、今後計畫ノ概要

0421

一、軍隊、舉兵、汪精衛等ハ當分表面的宣傳ヨリモ寧  
ロ潜行的ニ同志ノ獲得運動ヲ行ヒ特ニ日本軍ノ支那軍ニ  
對スル作戰的衝擊ヲ利用シテ有利ナル立場ヲ獲得シ雲南及  
四川等ノ舉兵ニ導ク意向ナリ、而シテ其時機ハ三乃至六個月後ト  
豫定シコレ迄ハ專ラ中央軍約三分ノ一ヲ目途トスル抱込ミ工作  
並ニ雲南四川軍ノ増兵ヲ行フ豫定ナリ

0422

一、財政 高宗武ノ言ニ依テ雲南ニ同地幣制改革ヲ

儀ニ最近香港ヨリ交通銀行宛ニ千九百萬元ノ法幣ヲ

送附シアリ、又當分ハ各所ヨリ調達セル資金ヲ以テ取

敢スノ運動ハ續行シ得ル筈ナリ、

三、汪等ノ行動、汪ハ當分河内ニ滞在シ機ヲ見テ香港

ニ至ル筈ナリ、同志中ニ國內輿論ヲ好轉セシムル為メ

0423

一時外遊ヲ可トスル意見モニアラサレトモ目下斯カル行動ニ出ツル  
意志ナキカ如シ高宗武ハ汪ノ命令ニテ來ルニ十日頃河内  
ニ至リ在香港同志ノ意見ヲ具申スル筈ナルカ爾後一日  
本ニ特使トシテ來リシキ意向ヲ有シ居レリ

四、汪精衛ノ日本側ニ對スル希望

十二月三十日 汪精衛ノ日本側ニ對スル希望トシテ申出ル處左如シ

0424

人日友西國ハ新東亞建設ノ基礎完成マテ英米列強ニ成  
可ク磨擦ヲ生セサルコト肝要ナリ、從テ當分ハ之等列強ニ  
對シ事端ヲ繁カシメサルコト

又、舉兵迄ノ準備期間ニ乃至六個月間毎月香銀約三百  
萬元ヲ日本側ヨリ援助セラレ度キコト但シ成可ク對支文化事  
業費ヨリ支出スラン度キコト

0425

3. 北海、長沙、南昌、漳關等ニ對シ政治的效果ヲ狙フテ

スル日本軍ノ作戰行動

4. 重慶ニ對スル徹底的爆撃

### 第七 帝國政變ノ影響

帝國政變ニ對シ支那紙ハ何モ日本ノ戦力減退ニ内外ハ

政策行詰リタルヲ以テ局面打開ノ爲ニハ得ス近衛内閣

0426

總辭職トナリタルモノニシテ新内閣ハ、ファッショ化シ其外交  
ハ層、英米諸國トノ對立ヲ尖鋭化スナラント論シ又ハ近衛首  
相並、汪精衛ハ其陰謀ノ思惑外レヨリ共ニ責任担當地  
位ヲ退カサルヘカラサルニ至リタリ等惡意ニ満テタル論評ヲ  
試ミ香港駐在ノ同志モ一時失望ノ觀アリタルハ覆ヒ難キニ  
其後政變ノ真相、新内閣ノ組閣振リ並新總理ノ聲明等

0427

ヲ明クニスルヤ其杞憂ヲ一掃シ何等決心ヲ動搖スルカ如  
キ懸念ナキニ至リタリ、板垣陸軍大臣、汪ニ對スル激勵文  
對シテハ香港駐在同志何レモ深ク感激シ十日特使ヲ河内  
ニ派遣シテ汪ニ報告シタル筈ナリ、今後汪ヨリ改メテ感謝スル所  
アルヘシ

第八、工作將來ニ對スル觀察

0428

汪精衛等ノ行動ハ重慶政府並一般民衆意表ニ出テ全ク  
晴天ノ霹靂タルノ感アルヲ以テ其内部ニ與ヘタル深刻ニ衝  
撃ハ想像以上ニレテ之ヲ契期トシテ重慶政府分裂ヲ促  
進スヘキコト疑ヲ入レス。現ニ共產黨ハ益々國民黨右派ニ對  
スル疑心ヲ増大シ其對立一層深刻トナリタル爲反共主義者  
ニレテ汪ニナラツテ脱出ヲ希望スルモノ少カラサルカ如ク今後

0429

發展期待スヘキモノアリ、然レトモ汪等ハ何等實力ヲ有  
セス英佛ノ同情モ得難クニ潛行的活動ニ待タサルハ  
カラサルヲ以テ之ヲ以テ事變解決ノ端緒タラシメンカ為ニハ  
日本ノ絶大ナル援助ヲ必要トスヘシ從テ我方ノ支那軍閥  
其他ニ對スル謀略實施ニ當リテハ汪ノ聲明ヲ以テ反蔣運動  
ノ大義名分タラシメ各種工作ヲ汪精衛工作ニ朝流セシムル

0430

ヲ有利ナリト信ス、但シ過早ニ日本側ト汪トノ關係ヲ  
暴露センカ功名心強キ支那人ヲテ却テ反對側ニ走  
ラシムル惧ラルヲ以テ彼等ニ對スル折衝ニ當リハ汪ト日  
本側トノ關係ハ一ニ工作當事者ノ肚裏ニ藏シテ之ヲ  
支那人ニ知ラレメサルコト必要ナリ、

(以上)

0431